

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋市中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2023年実績	1,275	595 (47%)	323	292	愛知 (47%) 静岡 (46%)
2024年見通し	1,270	—	320	—	茨城 (4%)
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
【概要】 愛知、静岡、茨城を中心に入荷する。作付面積は例年並。高温傾向により生育は苦戦気味だが、給食需要により引き合いが強く、高値推移となる見込み。 【見通し】 入荷量：前年並。(△0.4%) 価 格：前年並。(△0.9%)			愛知は生育順調で品質も良好であるが、高温傾向で傷みが出やすいため、適期収穫を心掛け、品質維持を徹底していただきたい。 業務や給食向けの需要が回復してきたので、今後も栽培面積の維持と、安定出荷をお願いしたい。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：さやえんどう）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2023年実績	1,434	292 (20%)	1,358	1,431	鹿児島 (20%) 愛知 (20%)
2024年見通し	1,350	—	1,400	—	熊本 (11%)
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
【概要】 3月は潤沢な入荷量となり、愛知は平年並、熊本はLサイズ中心で平年より多くなった。4月は暖冬の影響で前進出荷となり、山谷の少ない入荷が見込まれる。 【見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.9%) 価 格：前年をやや上回る。(△3.1%)			ハウス栽培である愛知県に対しては、安定供給の期待が大きく、今後も作付面積を維持して、安定した供給、品質の維持をお願いしたい。 スナップエンドウは数量の増減の幅が大きいため、安定供給に努めてもらい、できれば増産をお願いしたい。		

※さやえんどうに、きぬさやえんどう、スナップエンドウ、砂糖えんどう、オランダさやを含む。